

令和2年3月定例会 第112号

栄町議会だより

発行 栄町議会だより編集委員会

令和2年度当初予算、副町長の選任、教育長の再任などを含め全16議案可決

令和2年第1回定例会（3月議会）が、3月3日から13日までの11日間の会期で開催されました。本定例会には、副町長の選任、教育長の任命、条例の一部改正、道路線の認定、5会計の補正予算、6会計の当初予算及び議員発議案など合わせて、16件の議案が提出され、全議案とも原案のとおり可決されました。なお、今定例会における一般質問は7名、傍聴者は延べ34名でした。

議案審議

ものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議案第1号 全員賛成
栄町副町長の選任について
任期満了に伴い、栄町副町長を選任すべく、議会の同意を求めるものです。

議案第2号 全員賛成
栄町教育委員会教育長の任命について
任期満了に伴い、栄町教育委員会教育長を再任するものです。

議案第3号 全員賛成
特別職の職員で非常勤の

地方公務員法の改正により、特別職の任用が明確化されたため、現在任用している一部の非常勤特別職については改正後の法に基づき特別職に該当しないことから、当該職を除く改正を行うものです。

議案第4号 全員賛成
栄町道路線の認定について

栄町安食字前新田3049番1外の宅地開発に伴い、町が帰属を受けた区画道路について、町道として認定するため、議会の

議決を求めるものです。
議案第5号 全員賛成
令和元年度栄町一般会計補正予算（第9号）
歳入歳出それぞれ1,223万9千円を増額し、総額75億8,695万2千円とするものです。

増額の主なものは、歳入では、町税、国庫支出金、町債などによるものです。歳出では、サイクリングステーション整備工事、GIGAスクールネットワーク整備事業、栄中学校グラウンド改修工事などによるものです。

議案第6号 全員賛成
令和元年度栄町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
歳入歳出それぞれ3,731万4千円を増額し、総額27億8,713万8千円とするものです。

増額の理由は、歳入では、保険給付費等交付金によるものです。歳出では、医療費等保険給付事業によるものです。

議案第7号 全員賛成
令和元年度栄町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
歳入歳出それぞれ1,154万3千円を減額し、総額2億3,743万3千円とするものです。

減額の理由は、歳入では、普通徴収保険料、保険

基盤安定繰入金によるものです。歳出では、後期高齢者医療広域連合納付金によるものです。

議案第8号 全員賛成
令和元年度栄町介護保険特別会計補正予算（第5号）
歳入歳出それぞれ582万円を増額し、総額16億5,407万5千円とするものです。

増額の理由は、歳入では、介護保険財政調整基金繰入金によるものです。歳出では、介護予防・生活支援サービス事業費などによるものです。

議案第9号 全員賛成
令和元年度栄町矢口工業団地拡張事業特別会計補正予算（第1号）
理由は、継続費補正によるものです。

議案第10号、第15号
令和2年度各会計予算審査
令和2年度各会計予算の審査を行うため、議長を除く全議員13名による予算審査特別委員会を設置のうえ、2日間にわたり各常任委員会の所管事項別に、質疑を行い、採決した結果、6会計予算とも特別委員会において可決すべきとされ、本会議においても可決されました。

議案第10号 賛成多数
令和2年度栄町一般会計

予算規模、総額69億2,530万円で、前年度比2%の増。
議案第11号 全員賛成
令和2年度栄町国民健康保険特別会計予算
予算規模、総額27億5,744万9千円で、前年度比5.4%の増。

議案第12号 全員賛成
令和2年度栄町後期高齢者医療特別会計予算
予算規模、総額2億6,228万2千円で、前年度比5.4%の増。

議案第13号 全員賛成
令和2年度栄町介護保険特別会計予算
予算規模、総額15億9,277万7千円で、前年度比4.5%の増。

議案第14号 全員賛成
令和2年度栄町矢口工業団地拡張事業特別会計予算
予算規模、総額4,800万円で前年度比82.9%の減。

議案第15号 全員賛成
令和2年度栄町下水道事業会計予算
予算規模、収益的収入5億8,738万円、収益的支出6億4,709万8千円、資本的収入3億1,252万5千円、資本的支出4億2,466千円とするものです。

議案第1号 全員賛成
栄町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する

条例の一部を改正する条例
 人事院及び千葉県人事委員
 員会勧告を踏まえ、議員の
 期末手当の支給月数につい
 て、「100分の170」
 に改正するものです。

**町政のことが知りたい
 一般質問**

安食駅改築について

野田 泰博
 問 安食駅改築への町民ア
 ンケート調査は駅無人化
 前のものなので利用者に
 聞くべき

答 安食駅の改築について
 は、第5次総合計画の前期
 基本計画でも位置づけてお
 り、町としては、駅舎改築
 を実施して行くと言った方
 向性は、議員や町民のかた
 にも、既に示していること
 と考えている。なお、駅舎
 改築を具体的に実施してい
 くためには、駅舎のイメー
 ジや、規模、合築する施設
 の内容、さらに、南北自由
 通路の改修などの検討が必
 要であり、基本構想を策定
 することとしている。そし
 て、この基本構想を策定す
 る中で、議員及び町民の
 方々に対し、安食駅の改築
 について、意見を聴く予定
 である。なお、駅舎のイメ
 ージや、規模、合築する施
 設の内容、南北自由通路の
 改修などの具体的な意見に

つきましては、基本構想を
 策定して行く中で、議員の
 意見を聴くとともに、パブ
 リックコメントを実施し、
 町民からも意見を聴く予定
 である。さらに、駅利用者
 や、地元商工観光関係者等
 から、駅舎整備のための
 検討委員会を設け、意見を
 聴くこととしている。な
 お、安食駅は町の顔であ
 り、町の活性化と言った視
 点からも、意見を聴くこと
 も必要だと考えている。

**岩屋古墳からの落ち葉
 対策と危険な境界の安全
 対策について**

高萩 初枝

問 昨年3月議会で質問後、
 落ち葉対策と危険な崖の対
 策はどのように進んでいる
 か。危険だと町も判断した
 崖の安全対策について、今
 後も事故が起きないように、
 引き続き計画的にお願いし
 たいがどうか。

答 落ち葉対策については
 は、文化財サポーターのボ
 ランティアなどにより、伐
 採や枝処理などを実施して
 いる。これにより、落ち葉
 は減って、一定の成果が出
 ているものと考えている。
 なお、作業は継続して実施
 していく。がけ地の安全対
 策については、国指定史跡
 に、柵を設置することにつ
 いて、国や県と調整が必要

であり、施工方法や図面作
 成の手直し等で時間がかか
 った。なお、調整が終了す
 るまでの間、子供が近づか
 ないように、学校に指導を
 お願ひしてきた。また、が
 け地に近づかないように、
 ロープや張り紙等で注意喚
 起を徹底してきた。これら
 のことから、これまでに事
 故は発生していない。一
 方、柵の設置にかかる国や
 県との調整に見通しがつい
 たことから、令和2年度当
 初予算案に50万円を計上
 し、危険な個所の約40mに
 柵の設置を考えている。な
 お、他の個所については、
 従来どおり注意看板など
 で、この近くに來ないよう
 に啓発していく。さらに、
 地域居住者が危険個所に近
 づかないように呼びかけて
 いくことも必要と考えてい
 る。今後は状況を見ながら
 考えていきたい。

**子ども・子育て支援につ
 いて**

新井 茂美

問 この栄町では人口減少
 に歯止めをかけるための政
 策として子ども・子育て支
 援の充実に取り組んでいま
 す。現状と課題、又、具体
 的な取り組みについて伺
 います。

答 出生率では、平成29
 年の全国平均が1.43
 人、県平均が1.34人の

中、栄町は1.06人であ
 り、県内で下から9番めと
 なっている。平成27年の数
 値は0.85で県内最下位
 であったが、2年間で0.
 21ポイント改善してきて
 いる。課題としては、未婚
 率が高くなり出生率の低さ
 に繋がっている。そこで、
 男性の育児参画の推進及
 び、不妊に関する相談や治
 療費の助成、更には産科の
 誘致や産後ケアなどの、妊
 娠・出産時等に、安心して
 子育てができる環境をつく
 る。次に、待機児童の発
 生で、子育てと仕事を両立
 させるため、低年齢児の保
 育所への入園希望者が増加
 し、待機児童が発生してい
 る。課題としては、町内保
 育園等の定員数は増えてい
 るが、保育士の不足に伴い
 定員まで受け入れられない
 で、保育士の転入者支援や
 保育園の雇用促進などの保
 育士確保支援を充実させる
 など、待機児童を出さない
 取り組みが必要となってい
 る。次に、町の子育ての支
 援拠点の現状は、妊娠期か
 ら子育てまでの総合相談支
 援窓口として、子育て包括
 支援センターや、雨の日で
 も親子で安心して遊べる施
 設として、キッズランドが
 ある。課題としては、妊婦
 や育児中の母親などの身近
 な相談相手及び親子同士の

交流の場などが少なくなっ
 ており、キッズランドの開
 所時間を拡大するなどの利
 用促進が求められている。
 次に、犯罪や事故発生件数
 で、事件・事故が県内で一
 番少ない実績を有してい
 る。課題としては、今後も、
 この実績を継続していくこ
 とが課題となっている。そこ
 で、通学路への防犯カメラ
 設置や防犯灯の増設及び、
 交差点への飛び込み防止柵
 の設置など、子ども達が犯
 罪や事故に遭わない環境を
 つくる取り組みが必要とな
 っている。

**第5次総合計画の進捗
 状況について**

藤村 勉

問 第5次総合計画の安食
 駅舎改築事業について進捗
 状況と期待できるまちづく
 りへの効果について伺う。

答 安食駅改築事業は、J
 R施設である既存駅舎の改
 築、公共施設施設・トイレ
 等を備えた合築施設の新
 設、南北自由通路のバリア
 フリー化も含めた改修、構
 内エレベーター工事に対す
 る町からの補助、調査・設
 計費で総額6億3千万円を
 見込んでいます。なお、事業
 費については、建物の構造
 や駅舎の規模などにより改
 築費用をより安くすること
 が可能だと考えています。進

捗状況は、当初、町では橋上駅舎化として整備を検討してしたが、事業費が約16億円と多額な経費がかかるため、町財政を勘案のうえ事業費を縮減できる平舎での整備ができないか検討したところである。そして、JR千葉支社と、橋上駅舎化ではなく既存駅舎の改良等による平舎整備とすることについて、協議を行って、

台風災害への復旧状況について

岡本 雅道

JRから平舎での整備でも良いとの回答が得られたところである。まちづくりへの効果としては、駅舎が老朽化しているため、改築することがによりイメージアップが図れる。また、待合室が広くきれいになることやトイレがきれいになり、利用者への利便性が向上する。また、公共公益施設を合築することにより、町の活性化が図れる。また、老朽化している南北自由通路について、階段の改修や軌道上の柵の塗装など、駅舎改築とともに改修工事が一体的に行える。さらに、駅構内エレベーターを設置しバリアフリー化することで利便性が向上する。基本構想作成のスケジュールは、住民アンケートの実施も検討しており、その結果をもつて、基本構想作成業務委託の発注、検討委員会の設置を考えている。その後、素案を作成し、町議会議員の

意見をいただいた後、JRと協議し、案を作成し、パブリックコメントを行う予定である。このようなことから、基本構想の作成完了は、1月末を見込んでいる。

問 昨年の台風災害の反省点は何か。またその対応において、竜角寺台小学校への非常用発電機の配備が落ちていた必要ではないか。また、土砂崩れが15件（警戒区域外で8件）あった。防災の手引きに載せる等安全対策が必要ではないか。

答 主な反省点は、台風15号の襲来により大規模な停電が発生し、防災行政無線の一部の子局において、スピーカーの非常用バッテリーの電源が切れて使用できなくなってしまうこと。県の備蓄品の情報が町に来たおらず、必要な発電機や投光器が借用できなかったなどが起きてしまった。次に台風19号の襲来によりすべての避難所を開設したが、その際、急に招集したため、一部の避難所担当職員の出着が遅れるなど、当初は人員が足りない状況がわれ、民生児童委員に災害

時における担当地域内の住民の安否を確認していただくことの依頼ができていなかったこと。次に、10月25日の豪雨では、印旛沼、長門川の水位が計画高水位まで上昇した。当該施設を管理している水資源機構に対して、予備排水の実施を前もって、もう少し強く言うっておけばよかったことなどを反省点として考えている。反省点を踏まえ、停電対策として、避難所における非常用発電機や投光器を順次配備する。なお、県の備蓄品の借用については、県へ要請し、19号の時は比較的に早く調達することができた。防災行政無線の子局におけるスピーカーの非常用バッテリーの容量を増強し、稼働時間の延長を行う。また、放送内容を電話で確認できる、防災行政無線電話応答装置を役場に整備する。次に、避難所担当職員については、早めの参集を心がける。さらに、災害時において民生児童委員に安否確認を行っていたかどうかを早めにお願する。最後に、関係機関で言えば、10月25日の豪雨のように印旛沼や長門川の増水の際には、水資源機構との連絡調整を密にし、早い段階での予備排水を実施しても、また、災害時要援護者対策

コロナウイルス感染を防ぐための町の対応と取り組みについて

戸田 栄子

問 感染の終結をみない中、各種イベントや公共施設の使用休止、学校の休校など、町は感染防止対策をどのように取り組んでいるのか伺う。

答 町では、新型コロナウイルス感染症予防対策として、1月31日に「栄町新型コロナウイルス対策本部」を設置し、以降、「対策本部会議」を6回開催して、その後、国や県等の情報や要請を受けて3月4日現在、次の様な感染予防対策を講じている。
①町内小中学校の臨時休業に伴い、放課後児童クラブについて、夏季休暇等と同様に開所しており、3月3日から3月24日とし、午前8時から午後6時30分と

なっている。
②町関係施設の閉鎖等については、ふれあいプラザさかえやキッズランド、町体育施設や水と緑の運動広場、コスプレの館、房総のむらテニスコート等を閉鎖とした。
③町の主なイベント等の中止については、「栄町ふれあい文化祭」や「栄町さくらまつり」や「糖尿病予防講演会」等を中止とした。
④役場内の対応としては、はじめに、職員へのマスクの着用と入念な手洗いの徹底とともに、発熱、強いだるさや息苦しさ等の症状がある場合の休暇の徹底を職員に周知した。次に職員が電車通勤者の時差出勤や常勤職員及び日々雇用職員がお子さんの面倒をみる場合についての特別休暇の適用等を行っている。さらに、受付カウンター等の消毒清掃と消毒液の設置などを行っている。
⑤新型コロナウイルス感染症予防対策に係わる広報を、町ホームページ、町広報紙、行政回覧等を利用して、情報を発信している。内容としては、入念な手洗い、咳エチケットなどの一般的な感染症対策の周知徹底や発熱等のかぜの症状が見られる場合は、休暇の取得や外出の自粛のお願い。さらに、イベント等は、集

団感染予防の観点から、自粛するようお願いしている。一方、町内小中学校においても、3月2日から3月24日までを臨時休業としている。今後とも、新型コロナウイルスの感染症予防対策を図るため、国、県等の対応等の情報や要請を受けて、印旛保健所と緊密に連携して、適切な対応をしていきたい。

合葬式公営墓地の検討結果について

松島 一夫
問 昨年の第2回定例会において町長職務代理者が「必要性があるので、議会終了後ただちに検討に入りたい」と答弁した合葬式公営墓地の設置について、その検討結果を問います。

答 議会終了後、直ちに検討を行い、現在の町営墓地内で、整備に適した区画が確保できた際に整備する方針を立てたところである。なお、その際の検討内容は、合葬墓の形態と規模及び現在の町営墓地内への設置の可能性などについて、改めて他の事例等を参考にしながら検討した。そして、合葬墓の形態、規模については、納骨袋を用いて、直接埋葬して土に還す方式をとる場合、容積1立方メートルの屍櫃で約

400体の収容が見込めることと、この大きさの場合、町営墓地の4㎡の区画に設置することが可能であり、コストの抑制を図った整備が可能になるとしたところである。次に、町営墓地内での用地の確保だが、一般墓より納骨などの祭祀機会が増えることが想定される中で、墓参者が利用しづらくならない場所。また、一般墓と区分けして、わかりやすい場所に整備が可能なこと、などを考慮することとした。以上を踏まえ、検討時点で、町営墓地内に5区画の空きがあったが、何れも、一般墓に挟まれた区画であったことから、今後、返還によつて、角地の区画等で、整備に適した区画が確保できた際に、この検討結果を踏まえて、整備する方向で進めることとしたところである。

その他の一般質問

野田 泰博
・次期総合戦略・計画について

高萩 初枝
・生活困窮世帯等の子どもの学習支援について

新井 茂美
・福祉のまちづくりの推進について

岡本 雅道
・SDGsへの取り組みについて

戸田 栄子
・定住・移住促進による成果について

松島 一夫
・町の重要施策に係る情報の発信時期及び情報受信者の基準について
・庁内職場環境改善の取組の実効性について
・感染症対策に係る健康危機管理体制について

令和2年第1回臨時会

2月臨時会が2月4日に招集され、4議案が原案のとおり可決されました。

議案第1号 全員賛成
栄町印鑑条例の一部を改正する条例

成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律により、成年被後見人の権利の適正化が図られたことを踏まえ、成年被後見人でも意思能力を有すると認められる場合は、印鑑の登録ができるようにするものです。

議案第2号 全員賛成
令和元年度栄町一般会

計補正予算(第8号)

歳入歳出それぞれ3,957万3千円を増額し、総額75億7,471万3千円とするものです。

増額の主なものは、歳入では、ふるさと応援寄付金、ふるさと応援基金繰入金などによるものです。歳出では、ふるさと応援基金積立金、災害復旧事業などによるものです。

議案第3号 全員賛成
令和元年度栄町介護保険特別会計補正予算(第4号)

歳入歳出それぞれ17万3千円を増額し、総額16億4,825万5千円とするものです。

増額の理由は、歳入では、介護保険財政調整基金繰入金によるものです。歳出では、備品購入によるものです。

議案第4号 全員賛成
令和元年度栄町公共下水道事業特別会計補正予算(第5号)

歳入歳出それぞれ55万円を増額し、総額5億9,482万1千円とするものです。

増額の理由は、歳入では、財政調整基金繰入金によるものです。歳出では、施設維持管理事業によるものです。

編集後記

今年の春は例年より早く暖かくなり、桜が満開になったと思えば、満開の中雪が降ったりと、異常な季節となりました。まだまだ、コロナウイルス感染症も予断をゆるさない状況です。この議会だよりが発行される日には、町の議会議員選挙も終わり、新しい体制での議会運営が始まります。これからも、より良くなります。議員活動を充実させたいと委員会一同思っております。議会だより編集委員一同

発行者

栄町議会だより編集委員会
野田泰博(委員長)、戸田栄子(副委員長)
松島一夫、高萩初枝、大野徹夫、橋本浩
連絡先
栄町議会事務局
栄町安食台一丁目2番
☎ 33-7715 ☎ 95-4274
✉ gikai@town.sakae.chiba.jp

6月定例会は、6月2日(火)～12日(金)までを予定しています。
※請願書及び陳情書については、議会運営委員会の審査を受けることを原則としているため、5月25日(月)必着で提出くださるようお願いいたします。